

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105230
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ新屋敷
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町4番1号 (電話) 099-222-0321
自己評価作成日	平成29年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市中心部に位置していますが、甲突川河畔に近く、春には満開の桜を眺めながら散歩を楽しめたりと、季節感を感じられる環境にあります。入居者様のしたいこと、出来る事を尊重したケアを目指し、自立支援を念頭に置き、入居者様が、安全、安心に毎日の生活が送れるようなケアを実践できるようにしています。食事以外の時間は特に決めず、個々のリズムで生活できるよう支援し、外出などの希望も出来る限り多く作れるようにしています。食事には力を入れており、季節に応じた旬の食材を提供し、行事の際には職員全員で考えた特別メニューを提供しています。二ヶ月に一度運営推進会議を開催し、地域の方々と交流を図れる機会を作っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは運営推進会議に多数の地域代表の参加や消防団の巡回を受けたり、地域行事への参加時には車椅子介助などの支援もある等、自治会及び消防団との連携や協力関係を築いており、地域との交流に積極的に取り組んでいる。
- ・運営母体は医療法人であり、定期受診や24時間医療連携が整っており医療面における利用者や家族の安心となっている。
- ・本人のリズムに合わせた生活支援や歯科医の協力も得ながら口腔ケアに取り組むなど、理念に沿ったケアの実践に務めている。
- ・ホーム行事の花見の後、家族と職員の夜桜見物を行ったり、毎年、家族がホームの大掃除に参加するなど、家族と職員との親しく交流が行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念と事業所理念を挙げており、朝礼時に皆で唱和している。理念に基づいたケアを行えるよう定期的なミーティングや必要時には話し合いをしている。	地域密着型の意義を踏まえた、法人の理念と事業所理念を玄関やホール・事務所に掲示し、申し送り時に唱和している。職員会議やミーティングで毎月ケアを振り返り、理念に沿った支援の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、回覧板等で地域との情報のやり取りがあり、地域の方々の慰問（日本舞踊など）でホームに来て頂いたり、地域の行事（餅つき、運動会、お花見など）にも外出可能な方は参加している。また、忘年会や七夕といった行事には地域の方を招き、交流の場を持つことが出来ている。	自治会に加入し、地域行事の花見やもちつき大会には職員が手伝いをしたり、回覧板等を通して地域の一員として交流している。ホームの行事に地域住民及びボランティアの参加がある。学生の実習も受け入れ、地域の認知症に関する相談にもものっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	二ヶ月に一回の運営推進会議の際に認知症について説明し、意見交換を行っている。地域の方の認知症に関わる相談を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回の運営推進会議でホームでの現状報告や行事などの報告を行い、アドバイスを頂くなどし、地域の方々にも協力してもらい、行事などに活かしている。</p>	<p>定期的に地域住民を含めて運営推進会議を行っている。年1回は避難訓練も兼ねて実施している。事業所の活動写真をDVDで紹介したり、毎回テーマを決めて会議を有意義に開催している。得られた情報等を行事の実施の際に取り入れている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>年に一回、市からの介護相談員による利用者への個別面談を受け入れている。また運営推進会議の際、地域包括支援センターの職員に参加して頂き、取り組みを伝えている。</p>	<p>市の担当者とは書類提出の折に相談・報告を行って助言等を得ている。市主催の研修にも参加している。市の相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年に一度、ホーム内で身体拘束の勉強会を行い、どのようなことが身体拘束なのかを詳しく勉強している。現在身体拘束は行っていないが、身体拘束廃止委員会を設け、毎月のミーティングで身体拘束がなかったかをチェックしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を毎月開催し事例を出して研修を行っている。新人職員は特に言葉や表情などの学習をしている。日中、玄関は開放しているので、外に出る利用者にはさり気なく付き添い、散歩に切り替えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のミーティング内でも定期的に勉強会や研修を行う他、外部研修への参加も促し、職員一人ひとりが適切なケアを出来るよう高齢者虐待防止についても学んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年に一度施設内で研修を行い職員全体で学んでいる。また入居の際、ご本人、ご家族から要望があれば必要な情報提供を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要事項説明書を基に事業所として出来る事、出来ない事を具体的に説明し、同意を得られるようにし、本人、家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解、納得をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者に関してはケアを通して意見や要望を伝えやすい関係性、雰囲気作りに努めると共に、ご家族に向けても面会簿ノートを作り自由にご意見を記載して頂けるようにしたり、年に一回は家族会を開催してアンケートを実施している。	利用者からは日常のケアの中で信頼関係を築き、会話を重ね言葉を記録している。介護相談員との面談から状況を聞いている。家族には面会時や家族会で積極的に要望等を聞いている。居室に面会簿を置き、家族との連絡ノートとして、要望等を運営に活かしている。ホームの大掃除には家族の協力がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングにて職員からの意見や提案を求めたり、常日頃から職員が意見を言いやすい環境作りに努め、ホーム運営に活かしている。</p>	<p>管理者は毎月のミーティングで意見等を聞く機会を設けている。職員の意見が言いやすい環境を心がけ、職員一人ひとりを大切にしている。申し送り簿に職員の提案等を記入してもらったり、個別に相談を受けている。問題点や提案など職員から多く意見が出され、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>実績などにより給与などの査定があったり、資格取得者に手当を給付したり、就業規則などの見直し、改善がなされている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のミーティングの際、職員の勉強会を開催し、お互いの意識レベルの向上を図っている。また、外部で行われている研修会などに参加出来るよう心がけている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市町村で開催される介護研修で情報交換を行ったり、同じ系列の事業所に助勢に行った際にサービスを見たり、携わることで職員のサービスの質を向上出来るよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族だけでなく、本人にも入居前に出来るだけ施設の見学に来て頂けるようお話ししている。来られた際には施設を案内しながらどのような環境か知って頂き、入居前から不安を少しでも軽減できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より家族の考えをお尋ねし、事業所の経営方針をお伝えし相互の信頼関係作りに努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族がまず何を必要としているかをしっかり把握し、それに添った支援を行っている。また、希望により、他のサービス利用（フットケア、マッサージなど）の利用も行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は仕事として介護に携わるということだけでなく、家族の一員として日常の掃除、洗濯、買い物や、食事はもちろんレクリエーションなどの余暇の楽しみを利用者と共に過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	季節ごとのイベントや行事を共に行い、お互いにコミュニケーションがとれるよう、交流の場をもうけている。参加できない家族の方にも2ヶ月に一度は発行する新聞にて日常生活をご報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人などの面会がある場合は気軽に歓談できるように居室に案内するなど環境作りに努めている。また、本人が意思疎通困難な場合はスタッフがコミュニケーションのお手伝いを行っている。	いつでも面会ができ、ゆっくりとくつろげる環境を整えている。親戚や知人・友人・職場の後輩などが面会にきて居室等でお茶を飲みながら楽しそうに過ごしている。これまでの生活や習慣を継続できるよう、住職の来訪や家族との墓参り・美容院利用等を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格、相性、他利用者との関係性も考慮して座席の位置や、日常生活、レクでの大まかな組み合わせやグループ分けを行っている。また、会話の中で誤解からトラブルになりそうな場合は間に入り会話をサポートする支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設に転出後も職員が面会するなどして関係性を維持できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉での要望だけでなく、日々の生活の中の表情やふるまいから思いを把握する事に努めている。	申し送りノートに日常の出来事や言葉を記録に残している。意思疎通が困難な場合は、毎月のモニタリングで職員が意見交換したり家族から情報を聞き、本人の思いを中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族から聞き取った情報だけでなく、日々の生活の中でもこれまで生きてこられた生活歴を話題にすることで把握にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝の朝礼時に入居者の状態を職員で共有している。また毎月のミーティングの際には利用者の現在の状況を話し合い、ふさわしいチームケアが出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人を交え、家族会などで意向をお尋ねし、個別の介護計画を作成している。スタッフなどの意見を交え、半年毎に見直し、本人の意向に沿った物になるようにしている。	事前に把握した本人や家族の意見を参考に、過去の生活歴や日常の暮らしの中でのことを含めて担当者会議で検討し介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、見直しを6ヶ月毎及び状況変化時に実施し、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>業務日誌、ケア記録、身体状況記録に毎日の状況、ケアの実践、気づきを入力し、職員が目を通すようにしている。また、その他に共有事項を申し送りノートに記入し、情報共有に努め、介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の希望により、フットケア、訪問歯科の受け入れを行っている。また必要に応じ通院、個別に買い物や散歩の付き添い等必要な支援は柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議で地域の方々や包括支援センター職員の参加あり、周辺情報等の情報交換を行い、利用者の支援に役立っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。複数の関係医療機関と密に連絡をとり、適切な医療を受けられるようにしている。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を確認し家族の協力を得ながら支援している。訪問診療や24時間医療連携体制で適切な医療が受けられるようにしている。歯科医の往診や歯科検診・口腔指導を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で早く異常に気付けるようバイタル測定を実施し、通常の状態把握に努め、いち早く異変に気付けるようにしている。また、24時間体制で協力医療機関と電話連絡出来る体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院となった場合には、定期的に面会を行い、病院関係者、ご家族と情報交換し出来るだけ早くホームでの生活に戻れるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族の意志を尊重し、ホームとして出来る事、出来ない事を随時説明を行い、意思確認、同意を得ている。また、指定の緊急病院も書面で記入頂いている。	重度化や終末期の指針を基に契約時に説明をしている。状況変化毎に家族の意向確認を行い、24時間医療連携体制が整っており、ホームでできる最大限のケアに取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変、事故発生時の対応の勉強会を行っている。また、安全対策マニュアルを作成し、見直しや確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防、地域の方の協力を得て年に二回、消防避難訓練を行っている。また避難経路の確認や入居者の搬送法、消火器の使い方の訓練を行っている。</p>	<p>年1回は消防署立ち会い、1回は消防団及び運営推進会議参加者と合同の避難訓練を実施している。通報装置が作動すると、地域の消防団に連絡がいくようになっている。災害時の水やインスタント食品・レトルト食品・米・缶詰等を備蓄し、消火器やカセットコンロ・防災頭巾の防災用品も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、その人らしく生活出来るよう配慮している。また定期的に勉強会を行っている。	法人で法令遵守や倫理・プライバシー・接遇などの勉強会を行い、伝達講習や勉強会を実施している。羞恥心に配慮して、トイレ排泄時はバスタオルをかけ職員は外で待つ事を基本にしており、気遣いをしている。入浴介助もできるだけ同性介助で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者本人の行動や言動から気持ちや察し、希望や体調に合わせ自己決定出来るよう支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、時間制限などしておらず、本人のペースに合わせしている。買い物に行きたいと希望があれば都度対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容には気をつけ、近所の理美容室に出かけ、本人の希望によりカットや顔そりなどを行っている。外出時にはおしゃれ着と一緒に選ぶよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の状態にあった食事形態を考慮している。好みや嗜好品も大切にしている。誕生会、花見、敬老会など行事の際の食事には特に力を入れている。	献立は職員が利用者の好みや旬の食材を取り入れて作成している。利用者は職員と一緒に季節の野菜や筍の皮むきの手伝いをしたり、下ごしらえや準備・片付け等を行っている。食事の時間はその人のリズムに合わせている。木曜の刺身や行事食は利用者の楽しみとなっており、個別対応で外食にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、お茶時間後は必ず食事、水分量の記録をしている。食事が摂れない時には食べたい物やカロリーの高い物を提供したりして対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりの能力に応じて口腔ケアを行っており、スタッフが磨き残しを仕上げ介助を行っている。治療が必要な際は提携歯科医院にて受診を行い、希望によっては往診も受け入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握して、排泄前に行うしぐさや時間を見計らってトイレ誘導している。	しぐさや今までの排泄記録からトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄の失敗があっても周りに気づかれないように配慮して対応している。夜間のみオムツを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自家製のヨーグルトや果物の提供を心がけ、個々の排便パターンに応じてトイレ案内を行っている。また特に便秘の酷い方には腹部のマッサージやホットタオルなども試み予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが、柔軟な対応を心がけ、入りたい時に入ってもらえるようにしている。	週3回の入浴を基本にしているが、希望があればその都度入浴支援の対応をしている。足浴や同性介助も対応し、入浴を楽しんでもらうようにしている。入浴を嫌がる場合は無理強いせず別の日に変更している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望やその時の状況により昼寝などの声かけを行っている。また日中は季節に応じて散歩やラジオ体操などの活動で気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は飲み込むまでの見守りを行い、確実に服用して頂けるようにしている。また薬の変更時により状態観察が必要な場合は申し送りと同時に薬ノートを使用し情報の共有を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お盆拭き、洗濯物たたみ、食事の下ごしらえなど個々の能力に応じて日々を過ごせるよう支援している。また月毎のレクリエーションを行い事で気分転換が行えるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の体調や天気を考慮して近隣の散歩や買い物に出かけている。また車椅子での散歩や事業所のマイクロバスを利用している。いろいろな行事への参加も行っている。	日常的に近隣の散歩をしたり、ホームの買い物に同行し、自分の好きな物が買えるような楽しみを設けている。ホームの行事での外出や個別対応で買い物や外食に出かけている。家族の協力でソーメン流しや動物園など出かけたり、外出や外泊をする利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族や本人の希望によりお金を所持されている方もおり、自由に買い物など出来るように支援しており、その際にはスタッフが同行している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話希望のある方には自由に出るようにしている。家族からの電話があった時、本人に取り次いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるような飾り付けをしたり、清掃にも力を入れている。温度、湿度チェックを随時行っている。必要に応じて加湿器等使用し、快適な空間作りに努めている。	ゆったりとしたホールは、エアコンや加湿器等を使用し感染予防にも気配りで、快適な室内環境となっている。フラットな和室もある。雛飾り等の季節の飾り付けがされ、複数のソファでそれぞれがゆっくりくつろぎながら、過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや和室にソファを設置し誰でも利用できるようになっている。セミパブリックステーション的場所を作っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と本人に相談をし、居室を自由に環境を整えてもらっている。仏壇をおいている方もおられる。自由に作ってもらえるようにお声かけしている。	居室はベッドと箆笥が設置され、本人の好みや必要に応じて、ダンスや机・椅子・ソファ・冷蔵庫・テレビ・仏壇・遺影・家族写真等を持ち込み、人形や写真を飾って居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりが安全で自由に行動出来るような環境整備を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない